

# 序

東日本大震災から9年が経過した令和2年度は、未だ多くの子どもたちが避難先の学校で学習活動が続けるなど、震災に起因する課題が山積しています。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う学校の一斉臨時休業により、夏季休業期間を短縮しての授業実施や「新しい生活様式」に基づく学習活動を余儀なくされ、令和3年2月の福島県沖地震等では多くの学校において休校となるなど、通常の教育活動の実施が困難な年でもありました。

一方で、新しい時代の学びに対応するため、ICT環境の整備や研修の充実に取り組むとともに、指定する高校に地域コーディネーターを配置して地域課題探究活動の充実を図るなど、子どもたちにとってより良い教育環境の充実に努めてきたところです。

このような中、県教育委員会では、「第6次福島県総合教育計画(改定版)」及び「頑張る学校応援プラン」が最終年度を迎えることから、本プランに掲げた5つの主要施策を推進するとともに、県総合計画の進捗状況を踏まえながら、次期総合教育計画の策定に取り組んでまいりました。

さて、本教育年報は、令和2年度における教育に関する施策概要や事業実績等を収録しており、本県教育行政を一望できる資料として、また、本県の過去の教育行政を現在まで伝える貴重な資料として、教育関係者のみならず、多方面の方々に広く御利用いただいているところです。

今後本書が、教育施策を推進する上での参考資料として広く活用され、本県教育振興の一助となりますことを願っています。

令和4年3月

**福島県教育委員会**

※ 本書は、旧字体等（機種依存文字）が用いられている場合、常用漢字で表記しています。また、敬称は省略しています。